

Q8 災害発生(予測)時を想定した新庁舎駐車場(130台)の設置は賛成であるが、この場所を活用する避難者の居住地域や人員・災害の種類などはどのような想定なのか、それはどの場所で公開されているのか。災害時は避難者の退避場所の確保や、宿泊の必要性があると想定するが、今回の計画にはどうなっているのか。当然ながら、他の災害地で問題になった食事や簡易ベッドおよびトイレなど計画は。

A <総務課>避難者用駐車場は、居住地域による利用制限をせず開放する予定です。また、災害の規模にもよりますが、大雨を伴わない地震等によって一時避難や車中泊をする人の利用を想定しています。利用に関する情報の公開については、現在新庁舎および駐車場が建設中ですので完成後に周知予定です。食事に関しては、「生活協同組合くまもと」様などの事業者と支援物資の協定を結んでいます。また、生活用品として、簡易ベッド、マンホール用トイレを備蓄しています。



【教育】

Q9 ICT教育については、先生方の力量が問われる割合が高くなりますが、どうか可能な限り、プロ意識と高い専門知識を兼ねていただくようお願いいたします。子どもたちの未来の人生が大きく開花するよう切望致します。

A <教育課>町教育委員会では、学校教育専門指導員を配置し、小中学校における教育課程および学習指導など、学校教育に関する専門的事項の指導助言や学校におけるICT活用の推進を図る業務を行っています。また、ICT支援員を委託し、1人1台タブレット端末の活用などICT教育の充実に向けて取り組んでいきます。

Q10 教育課の実施事業について、ICT教育の推進、児童生徒1人1台のタブレット端末の環境整備、大変意義あることだと思います。町の将来を担うのは子ども達であると思います。教育を町の最優先課題にしたいです。

ここ数年、南関中学校の学力低下を耳にする事が多く大変憂慮しています。寺子屋教室や子ども食堂などボランティアの方がいろいろな工夫をされ取り組んでいるようですが、ボランティアに任せるだけでなく、町が真剣に取り組むべきことではないでしょうか？学力低下が将来の子供の貧困につながらないように取り組んでほしいです。

A <教育課>町教育委員会ではQ9でお答えした内容に加えて、専科指導教師および事務長の配置など、総合的な働き方改革による質の高い教育の提供に努めています。

【住基・戸籍】

Q11 マイナンバーカードの取得について、今はメリットを感じていない。また、紛失や情報漏れなどのデメリットを恐れて取得率向上につながっていないと思う。カード取得による国・国民としての全体像(メリット・デメリット)を開示することが取得率向上につながると思う。

A <税務住民課>マイナンバーカードとは国が施策として進めている写真付き身分証明書、マイナンバーの証明書、電子証明書等機能を有し、悪用を防ぐための情報保護対策をされた公的証明書です。

【マイナンバーカード取得のメリット】

- ①住民票、印鑑登録証明書を全国のコンビニエンスストアで取得できます。
 - ②健康保険証として医療機関を受診できます。(マイナンバーカードをお持ちの人にも、現行の保険証は発行されます。また、お引越しや転職などでお手元に保険証がない時や他府県でも、マイナンバーカードの保険証機能をご利用いただけます。)
 - ③マイナンバーの提示と身元確認が一枚でできます。
 - ④オンラインで行政手続きができるマイナポータルを利用できます。
 - ⑤ご自宅から確定申告の電子申告(e-Tax)ができます。
 - ⑥マイナポイントが付与され、お買い物の際に利用できます。
 - ⑦電子証明書をスマートフォンに搭載できます。(2022年度中)
 - ⑧免許証と一体化。(2024年度末)
- 今後も更にカードの電子機能を利用したサービスや町独自のサービス開始も検討していますので、ぜひマイナンバーカードの取得をお願いします。

【道路】

Q12 国道や県道について、福岡県から南関に入った途端に整備が見劣りする。(道路端や縁石周りの雑草、白線・黄線の消え、舗装の痛み、木竹の通行障害等)とても歓迎ムードには思えない。せめて南関IC周辺の「道路標識文字消え」は直してほしい。

A <建設課>ご指摘の国道および県道については、熊本県県北広域本部玉名地域振興局の土木部で管理をしていますので、土木部の担当課長へ地元要望として連絡しています。

Q13 交流センターへの出入り口道路の交通量は曜日や時間帯によってかなり多くあります。離合が待合わせないといけないくらいの道路だけでなく、443号線側の入り口を開けば、少し緩和するのではと思います。

A <福祉課>封鎖している交流センター建物裏の出入り口についてですが、出入り口が横断歩道に隣接していることを理由に警察から使用を禁止されています。そのため、使用できる道路が現在ご使用いただいている1ヶ所のみとなっている状態です。町民の皆様には施設を利用していただくうえで大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解をお願いします。



【観光】

Q14 町に公園といえば大津山公園とふれあい広場しかありません。しかもその2つしかない公園の遊具はすべて「老朽化のため使えません」とロープを張ってあり、撤去するわけでもなく新しい遊具が来る見通しもなくという風で、これで子育て支援に力を入れていると謳えるのだろうかと思います。

A <まちづくり課>大津山公園の遊具の使用中止については、ご迷惑をおかけし申し訳ありません。昨年4月に発令された国の緊急事態宣言に伴い、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、公園の利用を中止または制限する時期がありました。また、「都市公園における遊具の安全確保に関する指針(改定第2版)」に基づき、大津山公園の複合遊具及びローラー滑り台の専門技術者による定期点検を行い、修繕を要する箇所については、令和2年11月に修理を完了しています。なお、新たに公園整備計画はありませんが、来年開庁する新庁舎敷地内に2つの広場を整備し、多目的に活用できるよう計画しています。子どもが安全に遊べる環境であるよう、これからもより一層安全対策に努めます。

Q15 南関町をもっと魅力ある街にしていくには、どうしたらいいのか?と熱く真剣に考えてほしいです。新庁舎ができるのは明るい話題ですが、ここ数年の印象は、南関高校がなくなり、うから館がなくなり、町のシンボリック存在がどんどんなくなっていく印象です。南関町は伝統あるそうめんやあげ、自然、竹林、御茶屋跡などここでしかないいいところもたくさんあるのに。

A <まちづくり課>閉校・温浴施設の閉鎖、少子高齢化や人口減少など暗い話題もありますが、町では新庁舎建設(移転)を機に、南関版コンパクトシティの実現に向け、「住民・各種団体・行政」が一体となった協働のまちづくりを目指しています。南関そうめんや小代焼といった伝統産業、緑豊かな自然環境、白秋生家や御茶屋跡などの文化的資源を活かし、総合振興計画の将来像「新しい未来の幕開けとともに新たなチャレンジができる町」へのまちづくりを一層進めていきますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。